

第3次

「銀の馬車道」活用推進計画（案）

銀の馬車道—時空を超えて辿る輝きの道—
生野から飾磨へ

平成28年3月

銀の馬車道ネットワーク協議会

目 次

I はじめに

- 1 策定の趣旨
- 2 計画期間

II 第2次計画の成果、課題及び今後の方向性

- 1 広域的な交流によるツーリズムなどの振興
- 2 地域ぐるみの取組の展開の促進
- 3 「銀の馬車道」沿線の活用及び交流拠点の形成
- 4 今後の方向性

III 第3次「銀の馬車道」活用推進計画

- 1 基本方針
- 2 「銀の馬車道」プロジェクトの展開
 - (1) ヘリテージとしてのレベルアップ
 - (2) 地域外からの誘客増加をめざした取組の推進
 - ① 「銀の馬車道」のブランド戦略の推進
 - ② 「見る（ストーリーの見える化）」の強化
 - ③ 「食べる」の強化 －「銀の馬車道」グルメ街道－
 - ④ 「買う」の強化
 - ⑤ 「泊まる」の強化
 - ⑥ 「物語」を巡る広域観光ルートの形成
 - ⑦ 移動手段の整備
 - ⑧ 戦略的プロモーションの推進
 - (3) 銀の馬車道"愛"の醸成
- 3 推進体制

IV 参考資料

- | | |
|-----|---------------------------------|
| 別紙1 | 銀の馬車道におけるこれまでの取組 |
| 別紙2 | 第3次「銀の馬車道」活用推進計画概要 |
| 別紙3 | 銀の馬車道物語－時空を超えた輝きの道の物語(生野から飾磨へ)－ |
| 別紙4 | 銀の馬車道物語と地域資源 |
| 別紙5 | 第3次「銀の馬車道」活用推進計画策定に係るアンケート調査結果 |

I はじめに

1 策定の趣旨

中播磨地域のシンボルプロジェクトである「銀の馬車道プロジェクト」の推進における基本方針及び方策を定めた“第2次「銀の馬車道」活用推進計画”（平成23年3月策定：以下、「第2次計画」という）の計画期間が平成28年3月で終期を迎える。

第2次計画策定後の5年間、中播磨地域では計画に基づく様々な施策事業が地域ぐるみで展開され、「銀の馬車道」プロジェクトは地域内でも認知と理解が進み、今や地域づくりのシンボルとして定着してきている。

これらの成果を踏まえ、今後の基本的な取り組みの方向性を示すことにより、銀の馬車道プロジェクトを新たなステージへと発展させるため、“第3次「銀の馬車道」活用推進計画”（以下、「第3次計画」という）を策定する。

策定にあたっては、「銀の馬車道ネットワーク協議会」の運営委員会メンバーで構成する「第3次銀の馬車道活用推進計画策定部会」を設置し検討を進めた。

2 計画期間

第3次計画の計画期間は、平成28年度から平成32年度までの5年間とする。